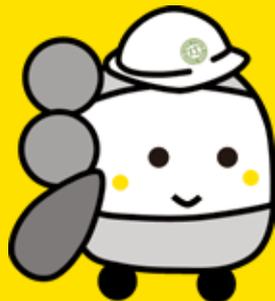


江電 災害時避難



ENODEN Disaster Evacuation Handbook

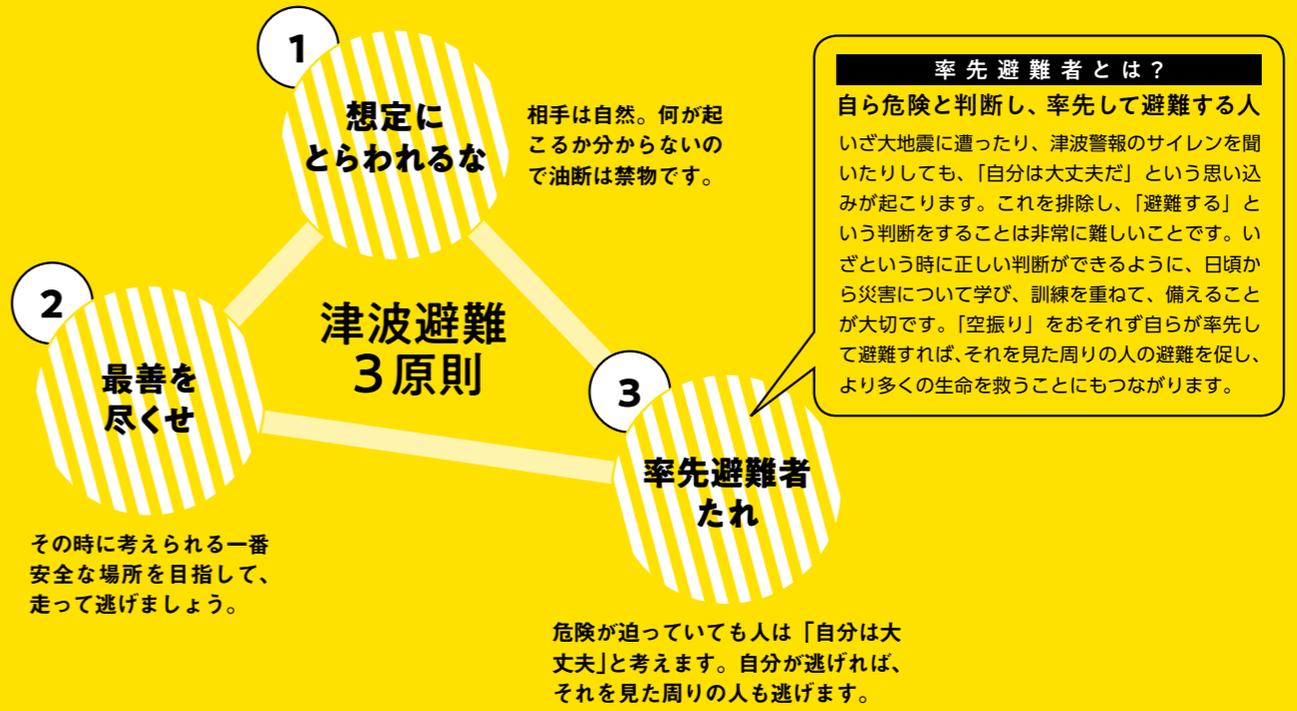
ハンドブック

【さくいん路線図】



もくじ	
さくいん路線図	P-1
素早い避難のために — 津波避難3原則 —	P-2
江ノ電防災対策 TOPICS	P-3
江ノ電防災対策の取り組み	P-5
ご乗車時に災害が発生したら	P-7
駅をご利用時に災害が発生したら	P-9
全駅避難場所マップ	P-10
災害を知る	P-26
あのときの藤沢・鎌倉	P-29

津波から生命を守る一番の行動は【素早い避難】



江ノ電防災対策 TOPICS

1 災害時避難ハンドブックを更新

行政による避難場所の指定変更に準拠

東日本大震災では、切迫した災害から命を守る場所と、避難生活を送る場所の区別が明確でなかったことが、人的被害を拡大させたともいわれています。この経験を踏まえ、災害対策基本法の改正による避難場所の指定変更が行われたため、災害時避難ハンドブックに記載の避難場所もこれに準拠し、変更を行いました。

役割が明確に。「指定緊急避難場所」
藤沢市の「指定緊急避難場所」には、どのような災害のときに避難すべきかをイラストで明確に表示されています。いざという時のために、災害の種類に応じてどこに避難するべきかを知っておきましょう。



2 「鉄道津波対策サミット」に参加

災害時避難ハンドブックの取り組みを報告

2021年11月4日に和歌山県で開催された「第4回鉄道津波対策サミット」にて、持ち歩きやすく、普段は地図として使え、防災学習の資料にもなる災害時避難ハンドブックの製作意図や活用事例などを報告し、鉄道津波対策の在り方を共有しました。

3 電車からの飛び降り降車避難訓練を実施

駅間停車時の緊急降車訓練に沿線小学校の児童も参加

社員を対象とした自社内の訓練のほか、他社で行われる訓練にも参加しています。2018年11月からは、沿線小学校の児童の皆さまとともにこの訓練を実施しています。



江ノ電社員の飛び降り降車訓練

沿線小学校の児童の皆さんも参加

飛び降り降車避難とは？

電車の乗降用扉から直接飛び降りて避難することをいいます。定員乗車では約3分で降車完了でき、車載はしごでの降車に比べて1/4の時間で済みます。

江ノ電防災対策の取り組み

1 避難場所と経路をいつでも確認 駅構内

「災害時避難場所マップ」 「避難場所経路路面シート」を全駅に整備

東日本大震災による被害を踏まえ、津波等の災害時対策として全駅に避難場所情報を設置しています。

2023年度には行政による避難場所の指定変更や避難実踏訓練の結果を踏まえ、全駅の避難場所等の見直しを図り、最新の情報に更新しました。



災害時避難場所マップ



避難場所経路路面シート



多言語表記

2 自動販売機の飲料を無償提供 駅構内

災害対応自販機を設置

地震などの災害発生時には無償で飲料を提供する飲料自動販売機を藤沢（3台）、江ノ島（1台）、鎌倉（4台）の各駅に設置しています（2024年3月末現在）。



災害対応自販機

3 全編成に“緊急避難はしご”を常備 車内

駅間でも安全に 降車していただくために

やむを得ず駅間に停車した場合でも安全に降車していただけるよう、折りたたみ式の緊急避難はしごを常備し、車いすスペースに収納しています。



緊急避難はしごを設置した様子



車両の車いすスペースに収納

鉄道施設と江ノ電社員の 見えないところの防災活動

▲ 定期的な構造物検査と 自主巡回点検を実施

駅施設および高架橋・橋梁・トンネル・擁壁等の構造物検査を定められた周期で実施するとともに、地震発生時や異常気象時には自主的に巡回点検を実施しています。



設備を陰で支える施設区画

▲ 現業・本社社員の訓練を 年2回実施

[避難誘導訓練・列車一旦停止訓練・津波避難訓練]

毎年3月と9月には、関東南部沿岸を震源とした地震により大津波警報が発令された想定で訓練を実施しています。訓練には、駅係員による避難場所までの避難誘導訓練、営業列車での一旦停止訓練、本社員の津波避難訓練があります。



本番さながらの訓練でいざという時に備える



ご乗車時に災害が発生したら

1 電車が停止したら乗務員の指示に従ってください

まず、ご自身の安全を確保

大きな地震の揺れを感じたら、つり革や手すりにつかまりましょう。お座りの場合は、カバンなどで頭を保護しましょう。

むやみに線路内に出ない

他の電車にひかれたり感電したりする恐れがあり大変危険ですとおやめください。



線路内歩行禁止

あわてずに乗務員の指示を待つ

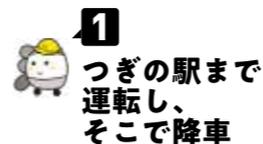
乗務員はお客様の安全確保を最優先した初動対応を行います。電車の運転や避難に関する案内があるまで、あわてずに待ちましょう。

2 地震の揺れが収まったら、降車して避難します

降車の際、あとから降りるお客様の補助などご協力をお願いいたします。

沿線にお住いなど地理に詳しい方には、避難場所までの先導等をお願いする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

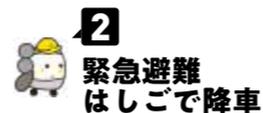
降車方法は状況により異なります



1 つぎの駅まで運転し、そこで降車

電車の運転が可能な場合は、つぎの駅まで運転し、その駅で降車します。

線路や施設の点検を行なった後、つぎの駅まで運転します。



2 緊急避難はしごで降車

はしごの設置は乗務員が行います。

- 手荷物を床に置き両手を空ける
- 乗務員の誘導で、一人ずつゆっくり降りる



はしごは乗務員が設置



一人ずつゆっくり降りる



3 飛び降り降車

乗降用扉から直接線路へ飛び降ります。

1. 扉の前に立つ
2. 床に両手をつけて座る
3. お尻を外にずらし
4. ゆっくり着地する



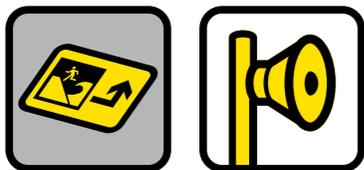
※線路には砂利が敷いてありますので、着地のときは十分に注意してください。



駅構内で災害が発生したら

情報を様々な方法でお知らせします

- ・構内放送・案内ディスプレイ・災害時避難場所マップ
- ・避難場所経路路面シート・防災行政無線



有人駅にいるときは係員の誘導で避難します

有人駅で避難が必要な場合は、あてずに駅係員の指示に従ってください。沿線にお住いなど地理に詳しい方には、**避難場所までの先導等**をお願いする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。



駅係員による誘導

無人駅にいるときは放送などの情報をもとに避難してください

津波警報・大津波警報発令、火災発生の場合、避難が必要です。構内放送・案内ディスプレイ・防災行政無線やエリアメール等で情報を得た場合は、災害時避難場所マップ等を参考にしてただちに避難してください。

全駅避難場所マップ

マップのみかた

駅の基本情報

みほん図

鎌倉駅 Kamakura

火災発生時の第1避難経路

火災発生時の第2避難経路

津波発生時の第1避難経路

津波発生時の第2避難経路

避難を開始する駅

江ノ電

海拔・海(川)までの距離図

避難時のランドマーク

公園 Park	病院 Hospital	教会 Church	ホテル Hotel
コンビニエンスストア Convenience Store	郵便局 Post Office	警察署・交番 Police Station	
スーパーマーケット Supermarket	寺社仏閣 Temples and Shrines	海水浴場 Beaches	

指定緊急避難場所 (大規模な火事)
Safety Evacuation Area (Big fire)

広域避難場所
Safety Evacuation Area

指定緊急避難場所(津波)
Tsunami Shelter

津波来襲時緊急避難空地
Tsunami Shelter

津波避難ビル/津波来襲時緊急避難建築物
Tsunami refuge building

指定避難所/避難所
Shelter

防災無線サイレンについて

藤沢市と鎌倉市では津波注意報の防災無線のサイレンが異なります。

- | | | | | |
|-----------------------------|-------------|------------------------|-----|--------------|
| 大津波警報 Major Tsunami Warning | サイレン3秒 休止2秒 | 津波注意報 Tsunami Advisory | 藤沢市 | サイレン10秒 休止2秒 |
| 津波警報 Tsunami Warning | サイレン5秒 休止6秒 | | 鎌倉市 | サイレンなし |

[測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R6JH5274]



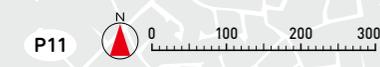
火災避難経路
Safety Evacuation Route

第1避難経路 Main Route
第2避難経路 Sub Route

藤沢駅は、津波浸水想定区域外です。
津波来襲の情報があったときは、係員の指示にしたがって避難してください。



藤沢駅ホームにとどまってください
Please stay in Fujisawa Station
海拔 18.4m



火災避難経路
Safety Evacuation Route

高台への目安方向
Route to higher ground

第1避難経路 Main Route
第2避難経路 Main Route

石上駅は、津波浸水想定区域外です。
津波来襲の情報があったときは、念のため海拔の高い所へ避難してください。



藤沢駅ホーム
Fujisawa Station
海拔 18.4m
石上駅より約650メートル



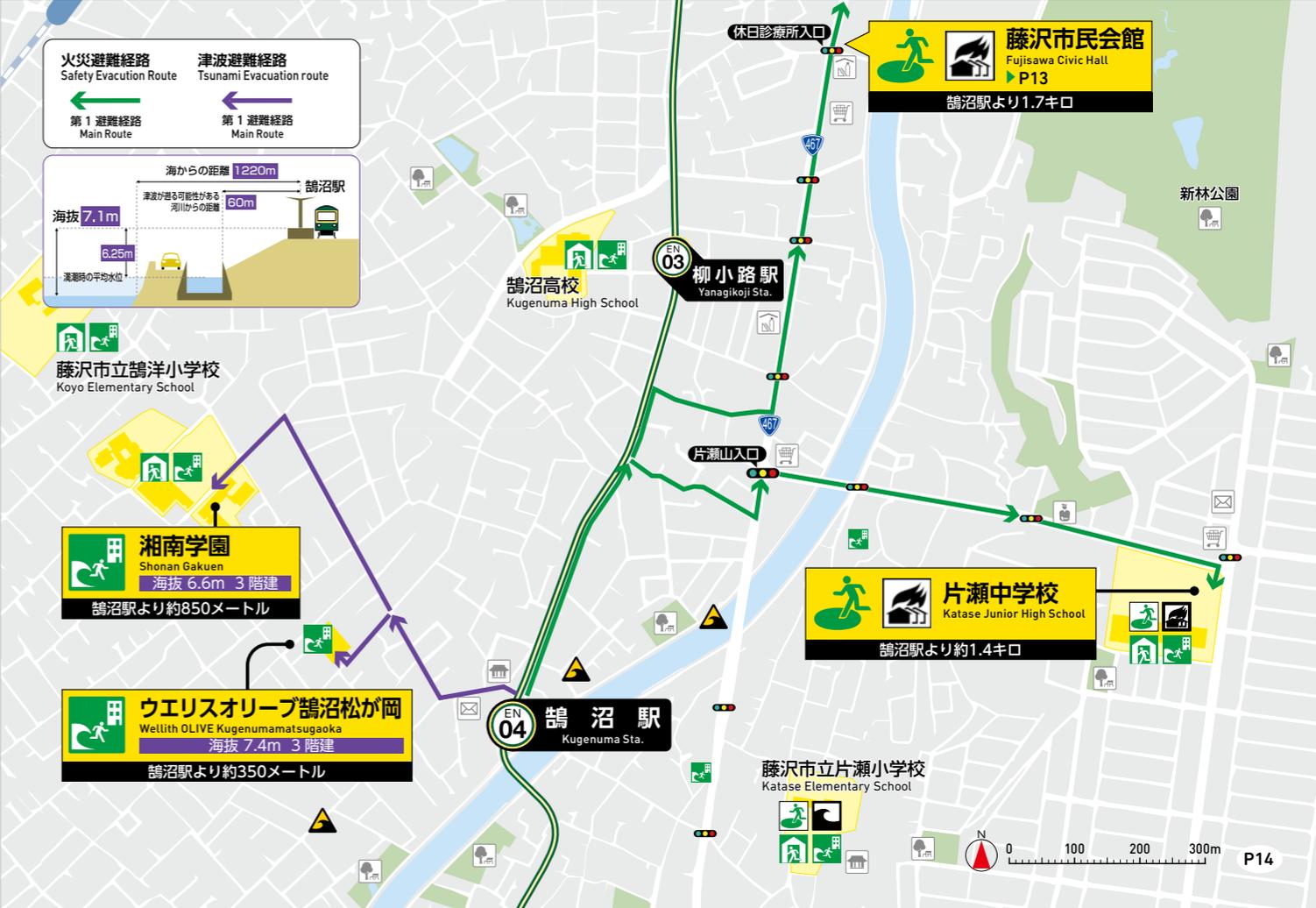
EN 03 柳小路駅 やなぎこうじ Yanagikoji

住所：藤沢市鵠沼藤が谷 4
終日無人駅



EN 04 鵠沼駅 くげぬま Kugenuma

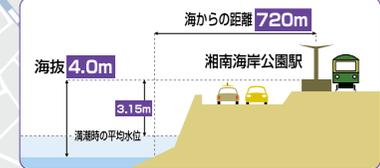
住所：藤沢市鵠沼松が岡 1
終日無人駅



藤石 沢上
柳 小沼
湘南 海岸公園
鎌倉 高校前
七里ヶ 浜
極楽 寺
和比 塚
鎌倉

EN05 湘南海岸公園駅 しょうなんかいがんこうえん Shonankaigankoen

住所：藤沢市片瀬4 終日無人駅



EN06 江ノ島駅 えのしま Enoshima

住所：藤沢市片瀬海岸1 終日有人駅



江ノ電の防災対策
ご利用時に発生した災害が
避難場所マップ
災害を知る



藤石 沢上
柳 鶴 小沼
湘 江ノ島 南海岸公園
腰 鎌倉高校前
七 稻村ヶ崎 ケ浜
極 長谷 楽寺
由 和田塚 比ヶ浜
鎌 倉

EN13 由比ヶ浜駅 ゆいがはま Yuigahama

住所：鎌倉市由比ヶ浜3 終日無人駅



EN14 和田塚駅 わだづか Wadazuka

住所：鎌倉市由比ヶ浜3 終日無人駅

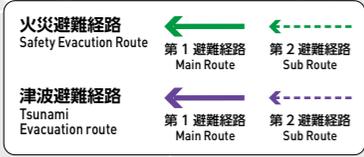


江ノ電の防災対策

ご利用時にたまたま発生した災害

避難場所15箇所マップ

災害を知る



源氏山公園
Genjiyama Park

鎌倉駅より約1.7キロ

御成中学校
Onari Junior High School

海抜 31.4m

鎌倉駅より約1キロ

御成小学校
Onari Elementary School

海抜 8.6m

鎌倉駅より約300メートル



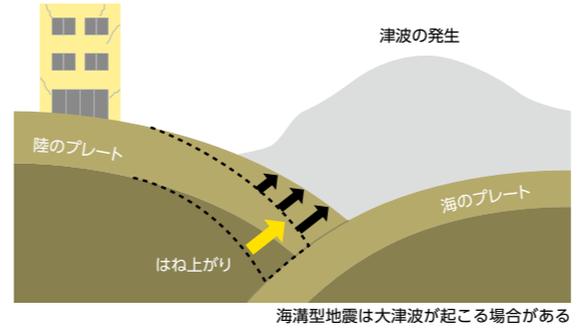
地震は大きく分けると2種類です。特徴と注意点を確認しましょう

地震の種類と特徴

1 海溝型地震

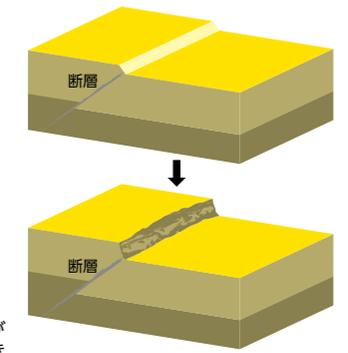
プレート境界型地震とも呼ばれ、海の底にあるプレートの境目のずれにより起こる地震です。東日本大震災の地震はこれにあたります。小さな揺れ（初期微動）からゆっくり大きく揺れ、3分以上長く続く場合もあります。大津波が発生する場合がありますので、津波の来襲を予期して行動する必要があります。

ゆっくり大きく長い揺れ＝津波来襲を予期



2 活断層型地震

海のプレート内のほか、陸地の地下の比較的浅いところでも多く発生する地震で、断層のずれにより起こる地震です。熊本地震などがこれにあたります。震源が浅いと突然小刻みに揺れ、揺れ時間が比較的短いのが特徴です。震源が海域に及び場合は津波が発生する可能性がありますので、強い揺れや津波警報を見聞きしたときは、すみやかに高台などに避難しましょう。

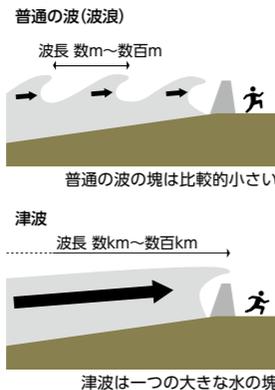


活断層型地震は震源が浅いので局所的に大きく揺れることも

津波の特徴

普通の波と津波の違い

普通の波（波浪）は風によって起こる海面の波で、一つひとつの波の塊は比較的小さく、力もそう大きくはありません。一方津波は、海溝型地震により海水全体が持ち上げられ、一つの大きな水の塊として伝わるため、非常に大きな力を持っています。



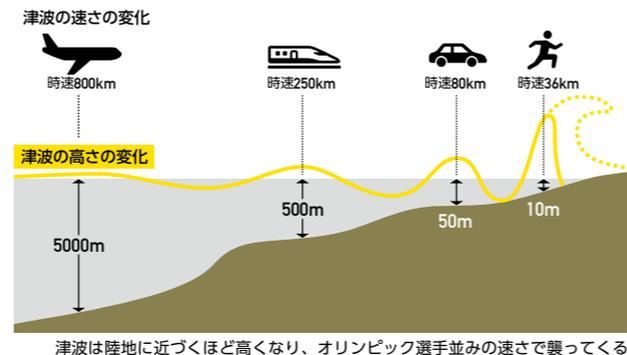
河川遡上

津波は河口から河川に流入し、内陸深くまで進みます。また、堤防を越えて田畑や市街地に浸水します。たとえ海から離れていたとしても、河川には近づかないようにしましょう。



津波の速さと高さ

津波の速さは、海の水深が深いほど速くなります。水深5000mではジェット機並みの時速800km、陸地に近づいた水深10mでもオリンピック選手並みの時速36kmで襲ってきます。つまり、津波を目撃してからは避難することは難しいのです。津波の高さは、海の水深が浅いほど高くなります。これは、津波は一つの大きな水の塊であるためです。速くに低い津波が来ていると思っていなくても、陸地に近づくにつれ突然高くなるので油断は禁物です。



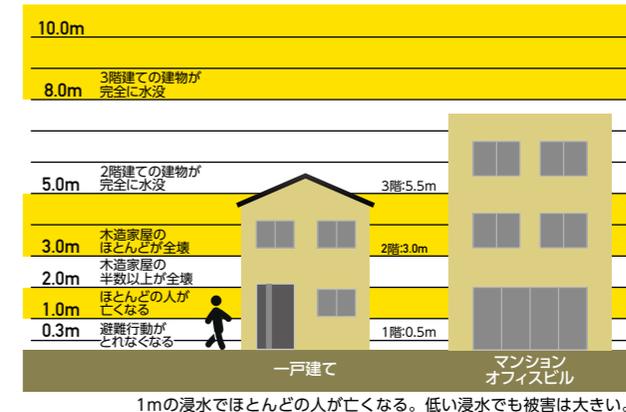
津波は長時間にわたり何度も押し寄せる

津波は1回だけではなく長時間にわたり何度も押し寄せます。初めに到達する津波の「第一波」が一番高いとは限りません。東日本大震災では、地震発生後数分で津波の第一波を観測。その後数時間にわたり、最大波を含めた大小の津波が到達しています。1回の津波が引いたからといって、浸水域の自宅に戻るなどの行為は危険です。津波の警報が解除されるまでは、安全な場所に留まるようにしましょう。

警報解除まで、自宅などには戻らない!

津波浸水深とその影響

津波浸水深とは、陸地が津波で浸水したときの「水面から地面までの深さ」をいいます。下の図は浸水深ごとの影響を示したものです。約30cmの浸水で歩行が困難になり退避行動がとれなくなります。約1mの浸水でほとんどの人が津波にのまれ亡くなります。津波来襲を予期したら、素早く・より高く・より海・川から遠くへ避難しましょう。



あのとこの藤沢・鎌倉 ～大正関東大震災～

1923年（大正12年）9月1日午前11時58分、
神奈川県西部から相模トラフ付近を震源とするマグニチュード8クラスの
大地震が関東一円を襲いました。

藤沢・鎌倉地域は烈震に見舞われ、建物はことごとく倒壊。火災や津波も発生しました。
いま、私たちがいるこの場所も、大地震による甚大な被害にあったのです。

当時、震度は6までしか示されていませんでしたが、藤沢・鎌倉地域は震度7の烈震に見舞われたといわれています。木造・石造り・レンガ造りなど地震に弱い建物はことごとく倒壊しました。地震の発生が昼食時であったことで火災も発生し、400戸以上の建物が全焼しました。

沿岸には津波も来襲し、80名余りの行方不明者・犠牲者をだしています。江ノ電の線路も各所でゆがんだり土砂に埋まったりしたほか、発電所全壊・1号車焼失など被害は甚大でした。昼夜に及ぶ懸命な復旧作業により、9月25日にはほぼ全線で復旧しています。



倒壊した建物と大きく屈曲した江ノ電の線路
(星野写真館所蔵)



七里ガ浜
(鎌倉市中央図書館所蔵)



鎌倉駅東口前
(鎌倉市中央図書館所蔵)



由比ガ浜
(鎌倉市中央図書館所蔵)

災害時避難ハンドブックを ご覧のみなさまへ

いつも江ノ電をご利用いただきありがとうございます。

昨今、東日本大震災をはじめ、熊本地震、北海道胆振東部地震など、多くの地震災害が発生しています。江ノ電が走る藤沢・鎌倉も、南海トラフ地震などによる被害が懸念され、より一層の備えと防災意識の向上が求められています。

本ハンドブックでは、江ノ電の災害時の取り組みのほか、地震についての基礎知識や過去の被害についてもご紹介いたしました。いざという時の備えとして日頃からご覧になり、携行していただければ幸いです。

今後も引き続き、『安全・安心な江ノ電』を目指して取り組んでまいります。





メモ欄



地域の学校・団体・企業の皆さまへ

災害時避難ハンドブックは江ノ電全駅の専用ラックで配布しておりますが、
まとまった部数をご所望の場合は下記発行元までお気軽にお問い合わせください。

下記のQRコードから、この冊子のPDF版をダウンロードできます。



災害時避難ハンドブック 第4版 発行：江ノ島電鉄株式会社 TEL：0466-24-2713 制作：株式会社玄

<http://www.enoden.co.jp>